

博報堂 D Y グループ環境方針

博報堂 D Y グループは、グローバルパーパス「生活者、企業、社会。それぞれの内なる想いを解き放ち、時代をひらく力にする。Aspirations Unleashed」を掲げています。

私たちはこのグローバルパーパスのもと、お取引先や社会の課題解決を通じて、生活者の想いがあふれ、いきいきと活躍できる社会の実現を目指しています。そのためには、すべての活動の前提となる地球環境が、健全で持続可能であることが欠かせないものであると認識しています。

生活者一人ひとりの想いや暮らしを起点に考える「生活者発想」と、「パートナー主義」を大切な考え方と掲げる私たちは、環境に関連する法令・条例および業界基準等の順守を徹底したビジネスを推進します。さらに、当社グループが持つクリエイティビティによって、生活者・企業・社会が共創し、環境に対する行動変容を生み出すことで、環境負荷の低減と持続可能な社会の発展に貢献します。

本方針の実行およびサステナビリティの推進は、博報堂 D Y グループサステナビリティ委員会にて、経営レベルでの進捗管理や見直しを図ります。

1. 環境法規制・順守義務

国内外の環境関連法令、規制、および当社が合意したその他の要求事項（順守義務）を特定し、その遵守を徹底します。

2. 気候変動対策の推進

温室効果ガス（GHG）排出量削減目標を設定し、達成に向けて推進します。エネルギー効率の改善に加え、再生可能エネルギーの導入を推進し、事業およびサプライチェーン全体での脱炭素化を目指します。

3. 事業における環境汚染の防止、循環経済の推進、生物多様性への配慮

オフィス運営や事業活動において、省資源・省エネルギーを徹底するとともに、廃棄物の削減とリサイクルを推進し、循環型社会の形成に寄与します。また、事業活動による汚染などへの環境リスクへの対応や自然資本に与える影響を認識し、生物多様性の保全に配慮します。

4. 事業を通じた環境価値の創出

生活者に基づくクリエイティビティと実装力を活かし、お取引先や社会との共創を通じて、環境課題の解決に資する新たな価値やソリューションを創出します。ビジネスを通じて環境負荷を低減するだけでなく、生活者の環境に対する意識や行動の変容を促すことで、持続可能な社会の発展に貢献します。

5. コミュニケーション・環境情報開示

本方針および環境パフォーマンス、気候変動などの重要課題に関する情報を透明性をもって開示します。社内外の多様なステークホルダーとの対話を通じて、信頼関係の構築と連携強化に努めます。

6. 環境マネジメント

環境目標の達成状況を定期的に評価・見直し、環境パフォーマンスの継続的な改善を図ります。

7. 従業員への教育と意識向上

従業員に対し、環境課題への理解を深める教育・啓発活動を継続的に実施します。一人ひとりが環境に対する責任と役割を自覚し、日々の業務やクリエイティブな提案を通じて、主体的かつ積極的に環境保全活動に取り組むことを支援します。

代表取締役社長

西山泰央

Hakuhodo DY holdings

© Copyright Hakuhodo DY holdings Inc. All rights reserved.